

1. 原稿の書式

原稿は横書きで、パソコンのワープロソフトまたはワードプロセッサを使用して、A4判用紙に1,200字程度 (35字×34行など)、文字の大きさ10～11ポイント程度で作成したものとする。

2. 原稿の枚数

原稿の枚数は、下表のとおりとする(刷り上り原稿はA4判で、1頁は21字×43行の2段組、約1,800字)。

投稿区分	表紙(1頁目)	和文要約(2頁目)	英文要約(3頁目)	本文(刷り上り原稿)
総説	1枚	800字以内	200語以内	10頁以内
論説	1枚	800字以内	200語以内	10頁以内
原著	1枚	800字以内	200語以内	10頁以内
短報	1枚	400字以内*	100語以内	6頁以内
資料	1枚	—	—	10頁以内

*短報も、和文要約および英文要約をつけることができる。

3. 原稿の構成

原稿は、表紙、和文要約、英文要約、本文(注を含む)、文献、図表より構成されるものとする。ただし、必要とされるものが投稿の区分によって一部異なるので、詳しくは本規定2の「原稿枚数」の表を参照するものとする。

3.1 表紙

1ページ目は表紙とし、以下の項目を記入する。

(1) 投稿原稿の区分 総説, 論説, 原著, 短報, 資料

(2) 表題(和文および英文)

(英文例) Analysis of Visual Information Processing by Event Related Potential (ERP)

(3) ランニングタイトル(和文で30字以内)

(4) Key words (英語で5つ以内)

(例) Key words : mental hospital, Rorschach test, graphical user interface(GUI)

(5) 原稿枚数 総頁数 ___枚

表紙 ___枚

和文要約 ___枚

英文要約 ___枚

本文 ___枚

文献 ___枚

図表 ___枚

(6) 別刷の希望数と表紙必要の有無

30部を越えた追加部数は著者負担で、本規定5の別刷料金表を参照。また、表紙が必要か不要かを記す。

(7) 著者等の表記(和文)

A. 著者名とその所属機関名

所属が2ヵ所以上の場合、著者名および所属名の各々右肩に番号を割り振ること。

(例) 深井喜代子*¹ 新見明子*² 田中美穂*²

*¹ 川崎医療福祉大学 医療福祉学部 保健看護学科

*² 川崎医療短期大学 第一看護科

B. 代表者の氏名と連絡先(所属機関等の名称と住所, tel, fax, メールアドレス)

(例) 深井喜代子 〒701-0193 倉敷市松島 288 川崎医療福祉大学
tel, fax, メールアドレス

(8) 著者名等の表記 (英文)

A. 著者名

(例) Kiyoko FUKAI, Akiko NIIMI and Miho TANAKA

B. 代表者の氏名と連絡先 (所属機関等の名称と住所, tel, fax, メールアドレス)

(例) Kiyoko FUKAI Department of Nursing, Faculty of Medical Welfare
Kawasaki University of Medical Welfare
Kurashiki, 701-0193, Japan
tel, fax, メールアドレス

表紙以外には氏名を記載しない。

3.2 和文要約

2 ページ目は和文要約とし、本規定 2 の文字数で論文の要約を記載するものとする。
なお、原則として複数の段落に分けず、全体として 1 段落の文章とする。

3.3 英文要約

3 ページ目は英文要約とし、本規定 2 の文字数で論文の要約を記載するものとする。
なお、原則として複数のパラグラフに分けず、全体として 1 パラグラフの文章とする。

3.4 本文

本文については、以下の規定に従うものとする。

- (1) 本誌は広く医療福祉分野に関係する読者が対象となるので、できるだけ多くの読者が理解できるように、平易な文章で記述し、論理的で正確、簡潔で明瞭な科学論文とする。
- (2) 略語は広く一般的に使用されているもの以外は使用しないのを原則とする。やむを得ず使用する場合には、最初に出たところで原語を記載し、その後に括弧をつけて略語を記載する。
- (3) 緒言 (理論), 研究 (実験) 方法, 研究 (実験) 結果, 考察, 結論, 文献, …等, またはこれに準じる。
- (4) 論文の文中の見出し番号の順は、原則として
1, 2, …, 1.1, 1.2, …, 1.1.1, 1.1.2, … とする。
さらに小さい見出しが必要な場合は、原則として (1), (2), …, A, B, …, とする。
- (5) 句読点は全角で「。」、「,」とし、括弧やコロンも全角とする。数字や%, =, 不等号 (<, >) 等の記号は半角とする。また cm 等の単位は記号ではなく、英半角文字で打つ。文中の英語等は、略号等の大文字も含め、すべて半角文字にする。
- (6) 注は、最初に出たものから順に、右肩付数字で、…†1), …†2) のように示す。文章の切れ目につける場合は、カンマ、ピリオドの直前の右肩に記す。そして最後に文献の前に一括して記載する。
- (7) 数式は、できれば日本語「LaTeX」形式で表現する。

3.5 文献

3.5.1 本文中の記載方法

1 つの文献につき 1 つの番号とし、本文に登場した順に通し番号を肩付き数字で …1), …2,3), …4,6) のように示す。同一文献が複数回引用される場合、同じ番号を付す。同一文献の異なる箇所を引用する場合で、それぞれのページ番号を明示したいときは、末尾の「文献」欄 (次項 3.5.2 参照) ではなく、本文の中で記載する。

本文中で著者名を記す場合は、原則として姓のみとし、以下の要領に従う。

著者が 2 名 : 2 名を「と」でつなぎ連記。 例) 川崎と江草 Kawasaki & Egusa
著者が 3 名以上 : 筆頭のみとし他は略記。 例) 川崎ら Kawasaki et al.

3.5.2 「文献」欄の記載方法

本文中に引用した文献資料は、そのすべてを末尾の「文献」欄に一括して掲げる。論文の読者が正確な書誌情報を理解し自らその文献を入手できるようにするため、正確に記載しなくてはならない。記載方法は、原則として以下の<記載例>に従う。

<記載例>

(1) 雑誌論文の場合

著者名：論題名. 雑誌名, 巻(号), 頁-頁, 発行年.

注①著者名は全員を列記し、コンマでつなぐ.

②著者名と論題名の間は全角のコロン.

③論題名と発表年の後ろはピリオド, 他の区切りはコンマ.

④副題は, 日本語の場合は全角ダッシュ, 外国語の場合はコロンでつなぐ.

⑤雑誌名は省略せず正式な表記とし, 外国語文献の雑誌名はイタリック体.

⑥巻はボールド体.

⑦頁は引用箇所ではなく論文の開始頁から最終頁(引用箇所は必要なら本文に記載).

佐久川肇, 本保恭子, 末光 茂, 江草安彦: ブラジルにおける老人に対する意識調査. 川崎医療福祉学会誌, **2**(1), 45-52, 1991.

Elkins BH, Pagnotto LD and Smith HL: Concentration adjustment in urinalysis. *American Industrial Hygienist Association Journal*, **35**(3), 559-565, 1974.

(2) 図書(単著)の場合

著者名：書名. 版, 発行所, 発行地, 発行年.

注①著者名は全員を列記し、それぞれコンマでつなぐ.

②著者名と書名の間は全角のコロン.

③書名と発表年の後ろはピリオド, 他の区切りはコンマ.

④外国語文献の書名はイタリック体.

⑤副題は, 日本語の場合は全角ダッシュ, 外国語の場合はコロンでつなぐ.

⑥版表示は当該図書の表示に従い(第二版, 改訂新版など), 初版の場合は省略可.

⑦引用箇所の頁は文献欄には記載しない(必要に応じて本文中に記載).

倉敷太郎: 福祉社会の……. 川崎出版, 東京, 1995.

岡田喜篤, 末光茂, 鈴木康之責任編集: 重症心身障害療育マニュアル, 第2版, 医歯薬出版, 東京, 2005.

American Psychological Association: *Publication manual of the American Psychological Association*. 6th ed, American Psychological Association, Washington DC, 2010.

ジャン・バニエ著, 江草安彦, 渡辺和子監訳: 愛と性の叫び—心に傷を負った人々からの—, ぶどう社, 東京, 1989.

(3) 編著書の一部の場合

当該部分の著者名：当該部分の題名. 編著者名, 書名, 版, 発行所, 発行地, 頁-頁, 発行年.

注①著者名，編著者名は全員を列記し，コンマでつなぐ。

②著者名と当該部分の題名の間は全角のコロン。

③当該部分の題名と発表年の後ろはピリオド，他の区切りはコンマ。

④外国語文献の書名（当該部分の題名ではない）はイタリック体。

④副題は，日本語の場合は全角ダッシュ，外国語の場合はコロンでつなぐ。

⑤版表示は当該図書の表示に従い（第二版，改訂新版など），初版の場合は省略可。

⑥頁は引用箇所ではなく当該部分の開始頁から最終頁（引用箇所は必要なら本文に記載）。

森忠繁：人口統計．緒方正名編，現代公衆衛生学，第2版，23-24，川崎出版，東京，1995。

Rosenberg J：Effects of medications on biological levels of industrial chemicals. In Fiserova-Bergerova V and Ogata M eds, *Biological monitoring of exposure to industrial chemicals*, ACGIH, Cincinnati, 159-162, 1990.

(4) インターネット上の情報

当該資料の作成者（著者）名：資料題名．サイト URL，資料公開年．（確認年月日）

注①冊子体で刊行されているものがある場合は，刊行されているものを優先する。

②当該資料の作成者名が不明の場合は，サイト全体の作成者名を記載する。

③作成者名と題名の間は全角のコロン。

④当該資料の題名と資料公開年の後ろはピリオド，他の区切りはコンマ。

⑤外国語資料の場合，資料題名はイタリック体。

⑥資料公開年が不明の場合，著作権表記があれば，原則としてその年を記載する．それも不明であれば，当該資料が公開されたと判断し得るもっとも古い年を，角括弧に入れて記載する。

⑦資料公開年とは別に，末尾に「資料をサイト上で確認した年月日」を付記。

厚生労働省：平成23年（2011）患者調査の概況．<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kanja/11/>，2012．（2015.7.31 確認）

World Health Organization：Global strategy to reduce harmful use of alcohol. http://www.who.int/substance_abuse/activities/gsrhua/en/，[2015]．（2015.7.31 確認）

3.6 図表

図表については，以下の規定に従うものとする。

(1) 図表の原図は，縮小製版できるように鮮明で完全なものとする．図表が鮮明でない等不適當な場合，原稿を受理しないことがある。

(2) 図表は，本文とは別に，1頁に1点ずつ記載し，図1，図2，……，表1，表2，……として，それを挿入する箇所を本文中の欄外（右側）に指定する。

(3) 図表の表題・図題・説明は，別紙に一括して記載する。

4. 最終原稿の提出

査読が終わり，必要な修正等をした最終原稿は，原本とそのコピー1部を提出する．さらにファイルを電子媒体（CD，USBメモリ等）にて提出する。

5. 別刷料金

表紙なし，30部までは無料（カラーページを含む場合も同様）．30部を越えた追加部数は著者負担．別刷料金は，下表のとおりとする。

単価表（円）

モノクロ	@4
カラー	@8
製本代	@20
表紙代	@1,500

積算例

ex. 1

50部 表紙なし モノクロ4頁
 $((4 \text{ 頁} \times @4) + @20) \times 20 \text{ 部} = 720 \text{ 円} + (\text{税})$

ex. 2

100部 表紙あり モノクロ8頁 カラー2頁
 $((8 \text{ 頁} \times @4) + (2 \text{ 頁} \times @8) + @20) \times 70 \text{ 部} + @1,500 = 6,260 \text{ 円} + (\text{税})$

ex. 3

頁数 部数	モノクロ 4頁	モノクロ 6頁	モノクロ 8頁	モノクロ 10頁	モノクロ 12頁	モノクロ 14頁
30+ 20部	720	880	1,040	1,200	1,360	1,520
30+ 70部	2,520	3,080	3,640	4,200	4,760	5,320
30+120部	4,320	5,280	6,240	7,200	8,160	9,120

- * 別刷30部までは無料（ただし、表紙なし）
 各別刷に別途表紙をつけた場合は、上記金額に1,500円加算する。
 その他希望があれば事務局に相談すること。

(平成27年8月5日改正)